

各事例の詳細について

平成22年5月10日
農林水産省

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過	検査結果 陽性 (10日判明)
57	児湯郡川南町	養豚	791頭 (繁殖豚65頭 種雄豚5頭 育成豚4頭 肥育豚632頭 子豚85頭)	51例目の 農場から 南西約800m	・5月9日、農協職員から宮崎県に対し、飼養豚2頭の発熱等を確認したと届出 ・同日立ち入り、2頭で症状を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	2頭
58	児湯郡川南町	肉用牛肥育	100頭 (黒毛和種44頭 交雑種50頭 乳用種6頭)	46例目の 農場から 北東約200m	・5月9日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛2頭の流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、3頭に発熱や流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	2頭
59	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	16頭 (繁殖9頭 子牛7頭)	21例目の 農場から 北西約50m	・5月9日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛2頭の流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、2頭に鼻腔内のびらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	2頭
60	児湯郡川南町	養豚	7,903頭 (種雄豚20頭 育成豚52頭 繁殖豚561頭 子豚917頭 肥育豚6,353頭)	8例目の 農場から 東約700m	・5月9日、獣医師から宮崎県に対し、飼養豚1頭に発熱・鼻の水泡等を確認したと届出 ・同日立ち入り、2頭の鼻鏡等に症状を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭
61	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	9頭 (繁殖牛5頭 子牛4頭)	36例目の 農場から 南西約200m	・5月9日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛2頭の流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、3頭に流涎・水疱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭
62	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	15頭 (繁殖牛8頭 子牛7頭)	31例目の 農場から 南西約200m	・5月9日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛3頭の流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、4頭に流涎等の症状を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	4頭
63	児湯郡川南町	肉用牛肥育	100頭 (肥育牛100頭)	49例目の 農場から 東約300m	・5月9日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛2頭の流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、2頭に舌のびらん・流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	3頭
64	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	50頭 (繁殖牛26頭 肥育牛5頭 子牛19頭)	10例目の 農場から 西約400m	・5月9日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭の舌がただれていると届出 ・同日立ち入り、当該牛の舌の潰瘍等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭

65	児湯郡 川南町	酪農	49頭 (搾乳牛33頭 育成牛8頭 子牛8頭)	15例目の 農場から 北東約900m	・5月9日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭に水疱等を確認したと届出 ・同日立ち入り、当該牛に水疱・流涎等を確認 ・本日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭
66	児湯郡 川南町	肉用牛肥育	645頭 (肥育牛645頭)	15例目の 農場から 南西約1.5km	・5月9日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛3頭に流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・本日、検体を動物衛生研究所へ送付	3頭
67	児湯郡 川南町	養豚	2,820頭 (繁殖豚190頭 子豚360頭 肥育豚2,250頭 種雄豚20頭)	20例目の 農場から 西約50m	・5月9日、獣医師から宮崎県に対し、飼養豚5頭の蹄部にびらん等を確認したと届出 ・同日立ち入り、3頭で症状を確認 ・本日、検体を動物衛生研究所へ送付	3頭